

青森県の県立高校における 「論理国語」と「文学国語」の開設状況の調査

長嶺 慶大

はじめに

平成30年告示の高等学校学習指導要領（以下、「新指導要領」）に基づく新しい教育課程の国語では、共通必修科目として「現代の国語」及び「言語文化」が、選択科目として「論理国語」「文学国語」「国語表現」「古典探究」がそれぞれ新設された。

新指導要領の案が発表されて以降、とりわけ、「論理国語」と「文学国語」に関する論評が世間に多く発表された。その多くは近現代文学研究者からのものであり、内容は「国語教育から文学が消える」⁽¹⁾ というものであった。

近現代文学研究者たちの「国語教育から文学が消える」という危機感は、「大学入学共通テストの試行調査では「実用的な文章」が出題されていますし、他の大学入試でも小説よりは評論文が出題されることが多いですから、「論理国語」か「文学国語」のどちらかを選択するといっても、大学進学を目指している高校・生徒は「論理国語」のほうを事実上選ばざるを得ない」⁽²⁾ という考えから生じているものであろう。つまり、平成21年告示の高等学校学習指導要領（以下、「旧指導要領」）では「現代文B」4単位だったものが、新指導要領では「論理国語」4単位、「文学国語」4単位となってしまう、多くの高校はカリキュラムの都合上、「論理国語」か「文学国語」のいずれかを選択するはずであり、その選択は大学

入学共通テスト（以下、「共通テスト」）をはじめとする大学入試を睨んだものになると推測したということである。これらの論評はメディアにも影響を与え⁽³⁾、新指導要領における国語から文学が消えるという印象を世間を与えた。

しかし、これらの動きは難波博孝が指摘するように大きなものにはならず⁽⁴⁾、世間の関心も他の話題へと次第に移っていった。そして、現在この状況に向き合っているのは、現場の教員たちである。

新しい教育課程が2年目となる令和5年度、本格的に「論理国語」と「文学国語」の授業が始まったのだが、高校現場はどのような選択をしたのだろうか。管見の限り、「論理国語」と「文学国語」の選択状況に関する調査結果等は公開されておらず、先述した論評によるイメージだけが先行しているように思われる。

そこで、稿者は青森県の県立高校の教育課程を調査し、高校現場がどのような選択をしたかを明らかにしたい。そして、この調査結果が今後の国語教育における文学について考えるための一助となることを目指していきたい。

調査対象・方法・結果

(1) 調査の対象・方法

調査の対象としたのは青森県の全日制課程の県立高校の、令和4年度入学生を対象とした教育課程である。各校が令和4年度に発表した学校要覧及びホームページに掲載されている教育課程表を調査し、「論理国語」「文学国語」の開設状況を一覧にまとめた。ただし、学校によっては令和4年度入学生の3年次までの教育課程が確認できない学校や2年次までの教育課程は確認できる学校があるため、確認できた分に限っている。なお、本稿掲載の一覧表においては、同じ学校・学科でも類型が異なる場合は別個に集計している。

(2) 普通科における開設状況

教育課程表を確認できた普通科を持つ25校のうち、「論理国語」を開設している学校は24校である。普通科は専門教育を主とする学科に比べて、大学進学を目指す生徒が多い傾向にあることから、近現代文学研究者たちが指摘した通りの状況になっているといえよう。

一方、「文学国語」を開設している学校は11校である。2年次・3年次に分割して4単位履修させる学校（八戸西，五所川原等）もあれば、減単しながら開設する学校（弘前，八戸等）や選択科目として開設する学校（百石，三沢），標準単位数（4単位）より増単する学校（三戸）が見られた。「文学国語」を開設していない学校でも，学校設定科目を用意して文学を指導しようとする学校（三本木）も見られる。

「論理国語」「文学国語」どちらも開設していない学校として八戸北が挙げられる。八戸北は「現代文」という学校設定科目を2・3年次に開設している。

約44%の高校において、「文学国語」が開設されているのは，後述する専門教育を主とする学科の開設状況をふまえると，新指導要領の下での共通テストにおいて，文学的な文章が出題されることが一因と推測できる。このことから，共通テストをはじめとする大学入試は多くの高校で「論理国語」が開設される契機になったが，一方で「文学国語」の開設にも影響を与えたとみることができるのではないだろうか。

(3) 専門教育を主とする学科における開設状況

教育課程を確認できた専門教育を主とする学科（以下，「専門学科」）を持つ高校は青森県内に22校存在する。そのうち，職業教育を主とする専門学科（以下，「職業学科」）を持つ高校は17校，職業学科以外の専門学科（以下，「非職業学科」）を持つ高校は6校である（弘前実業は職業学科と非職業学科を両方設置している）。この2つの系統に分けて調査する。

職業学科では12校が「論理国語」を、3校が「文学国語」を開設している。「論理国語」を開設している12校は工業系や農業系の職業学科が多く、大学進学よりも就職する生徒が多い⁽⁵⁾。そこで「実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする」ことを科目の目標とする「論理国語」を選択して開設する学校が多くなったと考えられる。

一方で、青森商業や弘前実業、八戸水産の海洋生産科漁業システムコース、水産食品科では「文学国語」を開設している。このうち、青森商業は大学進学者と就職者がほぼ同数、弘前実業は就職者よりも大学進学者が多い。これらの学校においても共通テストをはじめとする大学入試の存在が「論理国語」「文学国語」の開設に影響を与えているのではないかと考えられる。

非職業学科については、青森北・スポーツ科学科、青森南・外国語科、八戸東・表現科、八戸西・スポーツ科学科、五所川原・理数科、弘前実業・スポーツ科の6校が県内に存在する。このうち、すべての学校で「論理国語」が開設され、八戸西と弘前実業で「文学国語」が開設されている。これらの学校のうち、弘前実業を除いた5校で普通科を併設しており、大学進学者が就職者よりも多い。この進路状況が「論理国語」「文学国語」の開設に関係していると考えられる。

なお、「論理国語」「文学国語」の双方ともに開設しない学校として、柏木農業、名久井農業、青森工業、八戸水産の海洋生産科航海システムコース、水産工学科がある。これらの学校のうち、名久井農業は2・3年次には「国語表現」を開設している。柏木農業や八戸水産の海洋生産科航海システムコース、水産工学科は3年次に「国語表現」を開設し、青森工業は3年次に学校設定科目「国語研究」を開設している。「国語表現」も「論理国語」同様、「実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする」ことを目標とした科目である。開設の理由も他校が「論理国語」を開設している理由と同様と考えられる。

(4) 総合学科における開設状況

教育課程を確認できた総合学科を持つ学校は4校であるが、その全ての学校で「論理国語」を開設している。

一方の「文学国語」は必修履修科目か選択履修科目の違いはあるが、人文科学系列を中心に3校で開設されており、唯一開設していない木造においても、選択履修科目として学校設定科目「小説研究」が開設されている。

総合学科では系列次第ではあるが、すべての学校で「文学国語」あるいはそれに類する科目を履修できる教育課程になっている。総合学科は「生徒の多様な興味・関心等に応え幅広い進路選択が可能となる」⁽⁶⁾教育課程を求められている。また、大学進学者が就職者より多い学校もあるため⁽⁷⁾、普通科のように共通テストをはじめとする大学入試を見越して教育課程が編成されていると思われる。

終わりに

調査結果をまとめると、以下のようになる。

第一に、普通科において、約96%の学校で「論理国語」が開設され、約44%の学校で「文学国語」が開設されている。ただし、学校設定科目によって文学を指導すると思われる学校も入れると、半数以上の学校では、生徒が文学に触れられるような教育課程を編成している。

第二に、専門学科のうち、職業学科では「論理国語」を開設する学校は約71%、「文学国語」を開設する学校は約18%となっている。また、非職業学科では全ての学校で「論理国語」が開設されている一方で、「文学国語」を開設する学校は約33%である。それぞれ生徒の卒業後の進路が教育課程の編成に影響していると考えられる。

第三に、総合学科においては、全ての学校で「論理国語」が開設されている。「文学国語」

についても、一部の系列のみではあるが、4校のうち3校で開設しており、開設していない1校についても、学校設定科目で文学を指導する科目を開設している。この結果は、総合学科の特性をふまえて教育課程を編成しているためと考えられる。

この調査から、普通科や専門学科でも大学進学者が就職者より多い学科では「文学国語」を開設する教育課程が編成されていること、そのような学校が一定数存在することが明らかになった。このような教育課程を編成した理由の一つとして考えられるのが共通テストをはじめとする大学入試の存在である。たしかに近現代文学研究者が指摘したとおり、普通科などでは、共通テストをはじめとする大学入試を見越して、多くの学校で「論理国語」が開設されている。しかし、大学進学者より就職者が多い職業学科ではほとんど「文学国語」が開設されておらず、大学進学者が就職者よりも多い普通科などの学科では「文学国語」が開設されているという結果をふまえると、もちろん共通テストだけとは言えないが、その存在が「文学国語」の開設に影響を与えたと言えるのではないだろうか。

文学教育の観点から考えると、「文学国語」の開設が共通テストなどの大学入試の影響を受けているような状況は好ましいものではない。当然ながら、大学入試とは異なる軸によって文学教育の必要性を提示しなければならない。稿者自身、その軸とは何かという問いに対する答えは持ち合わせていないが、新指導要領において「文学国語」が「生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける」ことを目標の一つとして掲げていることは重視すべきものであろう。新指導要領解説では「生涯にわたる社会生活」は「高校生が日常関わる社会に限らず、現実の社会そのものである実社会を中心としながらも、生涯にわたり他者や社会と関わっていく社会生活全般⁽⁸⁾」とされている。そのような社会生活において、必要な国語の知識や技能は何なのかを稿者も含めた現場の教員一人ひとりが考え、それらを身に付けられる文学の授業づくりが求められているのである。そのような授業によって、大学入試とは異なる軸での文学教育の必要性を提示できるのではないだろうか。

そしてそのためには、国語教育研究者や近現代文学研究者との連携がより必要になるのである。

引用文献

(1) 『季刊文科』78号(鳥影社, 2019年)の特集名。この特集は後に『別冊季刊文科 国語教育から文学が消える(増補完全版)』(鳥影社, 2020年)として再度刊行された。

(2) 大内裕和・紅野謙介「逃走の教育から闘争の教育へ」(『現代思想』2020年4月号, 青土社)。

(3) 新聞各社の社説の見出しを時系列で見ると、「文学が軽んじられる恐れ」(『毎日新聞』2019年9月15日朝刊)、「文学に親しむ機会失わせるな」(『読売新聞』2019年10月30日朝刊)、「文学と論理 境を越えて」(『朝日新聞』2020年7月31日朝刊)、「文学と論理は分けられない」(『読売新聞』2022年1月10日朝刊)、「国語の科目再編は無理がある」(『読売新聞』2022年3月30日朝刊)とあり、その内容も近現代文学研究者の主張をふまえての論調となっている。

(4) 難波博孝「国語教育思想論に関する研究の成果と展望」(全国大学国語教育学会編『国語科教育学研究の成果と展望Ⅲ』(溪水社, 2022年)46頁)。難波は動きが大きくならなかった理由として、これらの動きが「文学研究者中心であり、国語教育研究者や実践者を巻き込み得ていなかったこと」、これらの動きが「小中学校の文学教育への眼差しが薄かったこと」、文学が軽視されるような状況を生んだ「文学研究そのものへの反省が見えなかった」ことの3点を挙げている。

(5) 各校の令和4年度卒業生の進路状況から。ただし、高校統廃合によって新設された学校や具体的な人数を公表していない学校は除いている。

学校名	大学	短期大学	専修・各種学校	就職・公務員
五所川原農林	22	8	35	70
弘前工業	47	0	26	127
八戸工業	53	1	21	155
むつ工業	3	2	11	84
弘前実業	94	25	96	53
八戸商業	34	3	44	27
三沢商業	32	12	28	44
青森商業	58	10	58	66

(6) 「総合学科について」(平成5年3月22日付文部省初等中等教育局長通知, 文部科学省ホームページ〈https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/seido/1258029.htm〉), 2023年7月9日参照)

(7) 各校の令和4年度卒業生の進路状況は以下のとおりである(未定者除く)。七戸は令和4年度卒業生の進路状況を公表していないため, 参考として令和2年度卒業生の進路状況を掲げる。表の数値の生徒数である。

学校名	大学	短期大学	専修・各種学校	就職・公務員
青森中央	60	21	70	29
木造	74	12	31	42
七戸	23	13	36	54
大湊	43	12	31	40

(8) 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説国語編』(東洋館出版社,

2019年) 179頁。

調査結果一覧表（2024年1月7日現在判明分）

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
1	青森	普通科		不明	不明	
2	青森西	普通科	文類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
3	青森西	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
4	青森東	普通科	文類型	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	選択科目として2年次に学校設定科目「探究国語Ⅰ」2単位, 3年次に「探究国語Ⅱ」2単位
5	青森東	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
6	青森北	普通科	文型	2年次に2単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
7	青森北	普通科	理型	2年次に2単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
8	青森北	スポーツ科学科		2年次に2単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
9	青森南	普通科	文型	2年次に3単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
10	青森南	普通科	理型	2年次に2単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
11	青森南	外国語科		2年次に3単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
12	青森中央	総合学科	人文科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
13	青森中央	総合学科	自然科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
14	青森中央	総合学科	生活科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
15	青森中央	総合学科	情報ビジネス系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
16	青森中央	総合学科	美術系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
17	弘前	普通科	文類型	2年次に2単位, 3年次不明	2年次に1単位, 3年次不明	
18	弘前	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次不明	2年次は開講せず, 3年次不明	
19	弘前中央	普通科	文系	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に1単位, 3年次に1単位	
20	弘前中央	普通科	理系	2年次に1単位, 3年次に1単位	2年次に1単位, 3年次に1単位	
21	弘前南	普通科	文類型	2年次に3単位, 3年次に3単位	開講せず	
22	弘前南	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
23	八戸	普通科	文型	2年次に1単位, 3年次に1単位	2年次に1単位, 3年次に1単位	選択科目として3年次に学校設定科目「文学講読」を1単位
24	八戸	普通科	理型	2年次に1単位, 3年次に1単位	2年次に1単位, 3年次に1単位	
25	八戸東	普通科	文型	2年次に3単位, 3年次に3単位	開講せず	
26	八戸東	普通科	理型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
27	八戸東	表現科		2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	
28	八戸北	普通科	文類型	開講せず	開講せず	学校設定科目「現代文」を2年次に3単位, 3年次に3単位。選択科目として3年次に学校設定科目「現代文研究」を2単位
29	八戸北	普通科	理類型	開講せず	開講せず	学校設定科目「現代文」を2年次に2単位, 3年次に2単位
30	八戸西	普通科	文型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
31	八戸西	普通科	理型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
32	八戸西	スポーツ科学科		2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
33	木造	総合学科	人文科学系列	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	選択科目として3年次に学校設定科目「小説研究」を2単位
34	木造	総合学科	自然科学系列	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	
35	木造	総合学科	流通ビジネス系列	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	選択科目として3年次に学校設定科目「小説研究」を2単位
36	木造	総合学科	情報システム系列	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	選択科目として3年次に学校設定科目「小説研究」を2単位
37	鯹ヶ沢	普通科	Aコース	3年次に4単位	開講せず	2年次に学校設定科目「探究国語」を3単位
38	鯹ヶ沢	普通科	Bコース	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	
39	五所川原	普通科	文類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
40	五所川原	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
41	五所川原	理数科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
42	黒石	普通科	文類型	2年次に3単位, 3年次に3単位	開講せず	
43	黒石	普通科	スキルアップ型	2年次に3単位, 3年次に3単位	開講せず	
44	黒石	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	
45	黒石	情報デザイン科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
46	黒石	看護科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
47	浪岡	普通科	教養コース	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に1単位, 3年次に1単位	
48	浪岡	普通科	商業実務コース	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に1単位, 3年次に1単位	
49	野辺地	普通科	I型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
50	野辺地	普通科	II型	2年次に3単位, 3年次に3単位	開講せず	
51	七戸	総合学科	人文科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	選択科目として3 年次に4単位履 修できる	
52	七戸	総合学科	自然科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
53	七戸	総合学科	情報ビジネ ス系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
54	七戸	総合学科	福祉健康系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
55	百石	普通科		2年次に2単位, 3年次に2単位	選択科目として2 年次に2単位, 3 年次に2単位履 修できる	
56	百石	食物調理科		3年次に3単位	開講せず	
57	六ヶ所	普通科	普通コース	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
58	六ヶ所	普通科	ビジネスコース	2年次に3単位, 3年次に3単位	開講せず	
59	三本木	普通科	普通コース 文類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	学校設定科目「探 究文学」を2年次 に1単位, 3年次 に1単位
60	三本木	普通科	普通コース 理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	学校設定科目「探 究文学」を2年次 に1単位, 3年次 に1単位

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
61	三本木	普通科	グローバルサイエンスコース文類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	学校設定科目「探究文学」を2年次に1単位, 3年次に1単位
62	三本木	普通科	グローバルサイエンスコース理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	学校設定科目「探究文学」を2年次に1単位, 3年次に1単位
63	三沢	普通科	文類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
64	三沢	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次は「古典探究」との選択で2単位	
65	田名部	普通科	文型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
66	田名部	普通科	理型	2年次に2単位, 3年次に1単位	2年次に1単位, 3年次に2単位	
67	大湊	総合学科	人文科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
68	大湊	総合学科	自然科学系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	「古典探究」との選択で2年次に2単位, 3年次に2単位	
69	大湊	総合学科	健康福祉系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
70	大湊	総合学科	情報ビジネス系列	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
71	大間	普通科	I型	2年次に2単位, 3年次に2単位	3年次に3単位	
72	大間	普通科	II型	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
73	三戸	普通科	文理探究コース	2年次に3単位, 2年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に3単位	
74	三戸	普通科	みらい探究コース	2年次に2単位, 3年次に2単位	2年次に2単位, 3年次に2単位	
75	五所川原農林	生物生産科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
76	五所川原農林	森林科学科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
77	五所川原農林	環境土木科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
78	五所川原農林	食物科学科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
79	柏木農業	生物生産科		開講せず	開講せず	2年次に「言語文化」3単位, 3年次に「国語表現」3単位

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
80	柏木農業	環境工学科		開講せず	開講せず	2年次に「言語文化」3単位, 3年次に「国語表現」3単位
81	柏木農業	食品科学科		開講せず	開講せず	2年次に「言語文化」3単位, 3年次に「国語表現」3単位
82	柏木農業	生活科学科		開講せず	開講せず	2年次に「言語文化」3単位, 3年次に「国語表現」3単位
83	三本木農業恵拓	普通科	文理総合コース	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
84	三本木農業恵拓	普通科	地域・観光コース	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
85	三本木農業恵拓	植物科学科		2年次に3単位, 3年次に2単位	開講せず	
86	三本木農業恵拓	動物科学科		2年次に3単位, 3年次に2単位	開講せず	
87	三本木農業恵拓	環境工学科		2年次に3単位, 3年次に2単位	開講せず	
88	三本木農業恵拓	食品科学科		2年次に3単位, 3年次に2単位	開講せず	
89	名久井農業	生物生産科		開講せず	開講せず	「国語表現」を2年次に2単位, 3年次に2単位
90	名久井農業	環境システム科		開講せず	開講せず	「国語表現」を2年次に2単位, 3年次に2単位
91	青森工業	機械科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位, 3年次に学校設定科目「国語研究」2単位
92	青森工業	電気科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位, 3年次に学校設定科目「国語研究」2単位
93	青森工業	電子科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位, 3年次に学校設定科目「国語研究」2単位
94	青森工業	情報技術科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位, 3年次に学校設定科目「国語研究」2単位

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
95	青森工業	建築科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位,3年次に学校設定科目「国語研究」2単位
96	青森工業	都市環境科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位,3年次に学校設定科目「国語研究」2単位
97	弘前工業	機械科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」2単位
98	弘前工業	電気科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」2単位
99	弘前工業	電子科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」2単位
100	弘前工業	情報技術科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」2単位
101	弘前工業	建築科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」2単位
102	弘前工業	土木科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」2単位
103	八戸工業	機械科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
104	八戸工業	土木科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
105	八戸工業	電気科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
106	八戸工業	材料技術科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
107	八戸工業	電子科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
108	八戸工業	建築科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
109	五所川原工科	普通科	文類型	2年次に3単位, 3年次に2単位	開講せず	
110	五所川原工科	普通科	理類型	2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
111	五所川原工科	機械科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」3単位
112	五所川原工科	電子機械科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」3単位
113	五所川原工科	電気科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「言語文化」3単位
114	十和田工業	機械・エネルギー科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位
115	十和田工業	電気科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位
116	十和田工業	電子科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位

通番	学校名	学科	類型	論理国語	文学国語	備考
117	十和田工業	建築科		3年次に3単位	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位
118	むつ工業	機械科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
119	むつ工業	電気科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
120	むつ工業	設備・エネルギー科		2年次に2単位, 3年次に2単位	開講せず	
121	八戸水産	海洋生産科	航海システムコース	開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位, 3年次は「国語表現」2単位を履修
122	八戸水産	海洋生産科	漁業システムコース	開講せず	選択科目として3年次に2単位	2年次に「現代の国語」2単位
123	八戸水産	水産食品科		開講せず	選択科目として3年次に2単位	2年次に「現代の国語」2単位
124	八戸水産	水産工学科		開講せず	開講せず	2年次に「現代の国語」2単位, 3年次は「国語表現」2単位を履修
125	青森商業	商業科	商業コース	開講せず	2年次に2単位, 3年次に2単位	
126	青森商業	商業科	会計コース	開講せず	2年次に2単位, 3年次に2単位	
127	青森商業	情報処理科		開講せず	2年次に2単位, 3年次に2単位	
128	弘前実業	商業科		選択科目として2年次に2単位	3年次に3単位	2年次に「言語文化」2単位
129	弘前実業	情報処理科		選択科目として2年次に2単位	3年次に3単位	2年次に「言語文化」2単位
130	弘前実業	家庭科学科		選択科目として2年次に2単位	3年次に3単位	2年次に「言語文化」3単位
131	弘前実業	服飾デザイン科		選択科目として2年次に2単位	3年次に3単位	2年次に「言語文化」3単位
132	弘前実業	スポーツ科学科		2年次に2単位	3年次に3単位	
133	八戸商業	商業科		2年次に4単位	開講せず	3年次に「国語表現」3単位
134	八戸商業	情報処理科		2年次に4単位	開講せず	3年次に「国語表現」3単位
135	三沢商業	商業科		2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	
136	三沢商業	情報処理科		2年次に2単位, 3年次に3単位	開講せず	